

みなさん、こんにちは。

2月も半ばを過ぎ、春の陽気が一段と進んだような毎日です。当館2階ギャラリーでは、明石市の小・中・養護学校の書初め展に続き、幼・小・中・養護学校の美術展が開かれています。

1. くらしのうつりかわり展「昭和しなつかし博覧会」 後期の部 開催中

好評だった前期の展示のうち、2階ギャラリーに設置していたいくつかの展示ゾーンを1階ロビーに移設して、後期の展示が始まっています。平日は学校団体の子どもたちが昔のくらしについて学び、市内外のケアハウスやデイサービスからは高齢者の方がたくさん観覧されています。

週末には、阿部さんの紙芝居を楽しんだり、ワークショップに参加したりと、子どもから高齢者まで様々な世代の方でにぎわっています。展示資料を見ながら自分たちの過ごしてきた時代を振り返る方。昭和30～40年代の明石を写した写真を懐かしそうに眺める方。楽しみ方はいろいろあります。

後期は3月21日(水・祝)まで。

2. ワークショップ「割ばし鉄砲とすりこぎとんぼ作り」

2月18日(日)は「割ばし鉄砲とすりこぎとんぼ作り」のワークショップを開きました。ガリガリと角材に刻んだ凸凹を棒でこすると、不思議なことに先端のプロペラが回り始めるすりこぎとんぼ。お父さん、お母さんもびっくりのおもちゃです。

割ばし鉄砲は子どもたちに大人気。お菓子の空箱を的にしてしっかりと遊べました。



お父さんと一緒に



お母さんもがんばる



よーくねらって!

3. 「発見! 明石路上写真術」参加者の写真を公開

1月27日に開催したワークショップ参加者による路上観察写真「超芸術」を下記のブログページで公開しています。何気なく歩いている街中にもオモシロイモノ、不思議なものがたくさんあります。新鮮な発見を覗いてみませんか。

<http://akashirojyou.blog91.fc2.com/>

4. 糸崎さんの新作フォトモ「国道市場」展示しています

1月28日、ワークショップの次の日にNHK神戸の取材も兼ねて、糸崎さんが明石の街中を歩き、新作フォトモを作られました。場所は2号線沿いの桜町にある「国道市場」という市場のあった場所です。今では「道・市」という文字が壁に残るだけで、通り過ぎてしまうようなところですが、フォトモにすると奥行きのある作品に仕上がっていて、アーケードの天窓から差し込む光も再現されています。



取材中の糸崎さん



パソコンで加工、印刷した写真を組み立てていく



新作が完成